

酒田市総合計画後期計画（酒田市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱）【案】に関する意見募集の結果について

酒田市総合計画後期計画（酒田市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱）【案】に関する意見募集を下記のとおり実施しました。

1 概要

- (1) 募集期間 令和4年10月5日から令和4年10月24日まで
 (2) 意見提出者 7名、意見総数31件

2 寄せられた意見と本市の考え方

No.	ご意見〔前段〕及び本市の考え方〔後段〕
1	<p data-bbox="245 707 1425 745">〔ご意見（原文）〕</p> <p data-bbox="245 757 1425 795"><u>全体について</u></p> <p data-bbox="245 806 1425 1030">私は■■■■■■■■■■高等学校の■■■■■を務めております。10月1日に配布された「私の街酒田」を拝見し酒田市総合計画後期計画案について知りました。より良い街づくりに貢献したいと考え、生徒会活動の一環として活動しました。そこでアンケートを活用し生徒の皆さんと他校の方々に協力してもらい意見の募集をし、まとめたものを現在の高校生が感じていることとして提出させていただきます。</p> <p data-bbox="245 1041 1425 1411">高等学校との連携に着目しアンケートを取りました。アンケートの内容としては、「酒田に住み続けたいか?」、「その理由」、「私たちにできることは何か」です。結果として住み続けたいと答えた人が34.2%で、住み続けたくないと答えた人は65.8%でした。住み続けたいと答えた人の理由として、自然豊かで空気がきれい、食べ物がおいしい、住みやすい、地元就職したいなどがありました。住み続けたくないと答えた人の理由として、若者が魅力を感じる施設が少ない、希望の職場や学校が県外にある、新作の商品が店に並ばないことやイベントが少ないなどがありました。私たちにできそうな活動としてインターネットを利用したPR、CM酒田まつりなどの伝統行事に参加するボランティア活動という意見が出ました。</p> <p data-bbox="245 1422 1425 1646">私達が考える意見としましては、酒田の魅力である、ラーメンやお米、刈屋の梨など酒田の食を広め地産地消や地場産業を並行して行い更に酒田港の洋上風力計画を推進させ、再生可能エネルギーの導入を進めたいです。未来を担う私たち若手が、今の酒田市の現状を知り今後の酒田市について話し合う機会を設けるなど、率先して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p data-bbox="245 1668 1425 1706">〔本市の考え方〕</p> <p data-bbox="245 1718 1425 1852">急速な人口減少により、あらゆる領域での担い手不足が顕在化する中、市民と行政のパートナーシップのもと、未来を担う高校生の参画など市民みんなの力による共創・協働のまちづくりが重要と考えます。</p> <p data-bbox="245 1863 1425 1998">ご意見にありました、食など酒田の魅力のプロモーション、地産地消、地場産業の振興、再生可能エネルギーの導入については、それぞれ関連する施策に掲げる具体的な取り組みを進め、住み続けたいと思う市民（特に若い世代）の割合の増加を目指してまいります。</p>

2	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>人口減少のため、データセンターを誘致する。東北公益文科大学生の酒田市の定着のためにもいいと思います。北海道にも設置している会社もあります。工業高校跡地などが有力だと思います。そこにプロ野球のできる野球場は維持費がかかるので不要です。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第2章>政策1>施策2【企業立地の促進】の今後の方向性として、「〇付加価値および賃金水準の高い業種の新規立地…に結び付くオーダーメイド型の支援を継続し、良質な雇用を創出します。」と記載しており、データセンターを含めた成長産業の企業立地を促進してまいります。</p>
3	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>空路の大阪便を開設する。現在、西日本の観光客を呼べていない。隣の新潟県に航空会社トキエアができますが、将来的に開設できないか検討して頂く。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第3章>政策3>施策2【庄内空港の利便性向上】の主な施策として、「・LCCによる成田線の再開および大阪線の復活」を記載しており、酒田市重要事業要望及び山形県庄内地方重要事業要望を通じて、山形県など関係機関に対して大阪線の復活について働きかけてまいります。</p>
4	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>前期計画（2018→2022）の進捗状況の進捗項目の評価ですが、例えば、P44 農業産出額の目標値232億円と実績値215億円（91.48%）で遅れている。P48 木材素材生産量の目標値60,000m³と実績値51,139m³（85.23%）で概ね達成となっていますが、この評価の基準はありますか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>農業算出額や木材素材生産量など単年目標の成果指標については、次のような考え方に基づき、進捗評価を行っております。</p> <p>◆進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値) × 100</p> <p>◆総合計画（3年目）評価基準の境界値「<u>60%</u>」 = (3年目 / 5年目) × 100</p> <p>「順調（目標達成）」… 進捗率 ≥ 100%</p> <p>「概ね順調」…………… 100% > 進捗率 ≥ <u>60%</u></p> <p>「遅れている」…………… 進捗率 < <u>60%</u></p> <p>この考え方（算出方法）を「農業産出額（3年目）、基準値193億円（2015）」に当てはめると、進捗率は55%と算出され、その進捗を「遅れている」と評価しました。同様に「木材素材生産量（3年目）、基準値27,176m³（2016）」の進捗率は73%と算出され、その進捗を「概ね順調」と評価しました。</p>

5	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>本計画に関連する個別計画については、施策ごとに個別計画を示していますが、個別計画とその作成年月を記載した一覧を資料として再掲できないでしょうか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>政策ごとに関連個別計画を示す現状の構成が視覚的に分かりやすいと考えております。なお、個別計画については、総合計画と関連のないものも含めた全ての個別計画の一覧をホームページに掲載することを検討します。</p>
6	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>酒田市は平和都市宣言・交通安全都市宣言・暴力追放都市宣言を行っていますが、本計画での位置づけを教えてください。特に酒田市は先の大戦、山形県で唯一時の米軍から、旧琢成小学校や大浜工業地帯が2日間にわたり空襲を受けて、死傷者・行方不明者をだしています。今なお、酒田港に米軍が投下した機雷が残留しています。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>都市宣言は、本市の重要課題について、自らの意思や主張、方針を明らかにしたものであり、総合計画に掲げる関連施策の基本理念になるものと認識しております。</p>
7	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u></p> <p>本計画を作成するにあたり各界の代表した<u>審議委員</u>に審議していただきました。山形県が第4次山形県総合発展計画長期構想を作成にあたり選出された山形県総合政策審議会委員には大学生2名が代表も含まれているようです。東北公益大学と連携し大学生を委員に加えることができないでしょうか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>このたびの総合計画の策定に当たり、東北公益文科大学学生を酒田市総合計画審議会の委員に委嘱しておりませんが、当該大学生を対象としたワークショップを行い、第2章＞政策2「地元でいきいきと働くことができるまち」及び第3章＞政策1「未来を支える担い手が増えるまち」に掲げる施策について意見を集約しております。また、第1章＞政策2＞施策1【東北公益文科大学等との連携】を掲げており、本市の事業や各種委員会への東北公益文科大学学生のさらなる参画を推進してまいります。</p>
8	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について</u>〔5P〕<u>人口減少の抑制について</u></p> <p>平成17年と令和2年の国勢調査の人口を比較すると、市全体117,577人→100,273人、旧酒田市地区98,278人→85,433人、旧八幡町地区7,067人→5,225人、旧松山町地区5,302人→4,011人、旧平田町地区6,930人→5,5</p>

	<p>94人、人口減率は酒田市全体－14.717176%、旧酒田市地区－13.05989%、旧八幡町地区－26.06481%、旧松山地区－24.34930%、旧平田町地区－19.2785%、旧3町の人口減少率が高いようです。特に鉄道のない旧八幡町、旧松山町が高いと思われます。酒田市は、旧3町地区で人口減少が進んでいる理由をどのように分析していますか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>八幡、松山、平田地域（総合支所管内）の人口減少については、酒田市全体と同様に、出生数の減少による自然減及び若年層の転出超過による社会減が素因として、また、総合支所管内から旧酒田市地区への転居が拡大要因として作用していると分析しております。</p>
9	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について（マネージメントの確立）</u></p> <p>行政と住民が協同作業を行い新たな事業でV字回復を目指すには、組織力向上を図りながら新たな発想で戦略的組織経営を行わなければなりません。組織力＝戦略能力×遂行能力なので、酒田市行政の組織力＝行政の戦略能力×住民の遂行能力で共同作業の組織力を高めていく必要があります。両者をまとめるために変革期は強いリーダーシップが求められます。目標・具体的な進め方を示し、継続できる事業に仕上げなければなりません。現在はリーダーの顔が見えず、組織マネージメントができていないのが現状です。ぜひ新市庁舎が行政・住民協同経営の司令塔として政策に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>私が■■■グループに勤めていた時は多くのプロジェクトリーダーを経験しておりますが、新たな事業に取り組むときは自ら率先して企画立案し、仕掛け・仕組みづくりを具体的に示さなければ組織を動かすことはできませんでした。</p> <p>「主な取り組み」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①携帯電話の実用化実験 ②法人ユーザのプライベートネットワークの構築 ③全国アナログマイクロ網のデジタル化品質向上 ④全国教育インターネットサービス環境の整備 <p>〔本市の考え方〕</p> <p>貴重な意見として受け止めます。なお、めざすまちの姿の実現に向けて、市民と行政とのパートナーシップのもと、共創・協働のまちづくりに取り組んでまいります。</p>
10	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>全体について（デジタル変革）</u></p> <p>基本構想の第1章から第7章まで共通して変革を与えるためのキーワードはデジタル化です。世界で遅れていた中国がデジタル化の推進で躍進したように、今までのやり方の延長で事業を展開しても限界があります。V字回復の手段として徹底してデジタル化を推進してほしい。幸いにも鶴岡は先端研を中心にサイエンスパークが順調に伸びています。アライアンスを組むことにより、地方でもビジネスチャンスが生まれてきます。また酒田では新産業会館を起点としたテレワーク環境が整備され始めています。新たな産業を生み出すためには失</p>

敗・成功の連続ですので強い信念をもってかなり集中して向き合わないと実現できません。デジタル化戦略を具体的な政策にもっと盛り込み、新たな産業として発展するよう本格的に取り組んでほしい。そこで生み出したモジュールサービスはやがて大きなビジネスチャンスにつながります。特にグローバルビジネスと地場産業を伸ばす仕組みを意識して成功事例を生み出してほしい。

【本市の考え方】

第2章>政策1>施策1【新たな産業やビジネスの創出、商工業の競争力強化】の今後の方向性として、「〇酒田商工会議所および酒田ふれあい商工会等と連携しながら、農商工観連携も含めた多角的なビジネス支援を行う産業振興まちづくりセンター『サンロク』の機能強化を図り、新事業創出および事業拡大など総合的な産業振興を図ります。」と記載しております。具体的には、市内企業のデジタル化促進に向けて、サンロクとIT企業を主体とした「やまがたDXコミュニティ」を組織し、生産性向上や新たなサービスモデルの構築をサポートしてまいります。

11

【ご意見（原文）】

全体について 地域ブランド力の向上

酒田は江戸に米ビジネスで発展した商人の湊町です。現在観光名所を整備しているのですが、単なる建物整備に終わっており、数多くある酒田固有の歴史文化が伝わってきません。立派に整備された日和山エリアもそこに秘めた歴史文化があまり紹介されておらずもったいない気がします。

本家の唐仁屋は酒田36人衆、本間家、わっぱ一揆、相馬屋事件、竹久夢二等観光名所にほとんど絡んでいますが、ルーツを調べるまでは何もわかりませんでした。徳尼公伝説から最上義光の庄内平野開拓や最上川舟運、河村瑞賢による北前船西廻り航路の開拓、本間光丘の商人地主としての米ビジネスの成功等具体的な経緯を調べると語りつくせないドラマがあります。先人が築いた文化遺産は日本に誇る酒田特有の歴史文化がありますので、マーケティングを強化して酒田市全体のブランド力アップを図っていただきたい。世界遺産に旅行に行くと現地ではしか感じられない感動を得るものです。もっとストーリー性を持たせて観光ビジネスを意識した政策展開をお願いしたい。

ブランド力向上についてはこの観光戦略とデジタル化戦略で酒田の知名度アップを図ってほしいと考えます。

【本市の考え方】

第3章>政策2>施策1【観光地域づくりの推進】の今後の方向性として、「〇酒田DMOが中心となり、観光事業者と連携しながら、『稼ぐ観光地域づくり』に向けた戦略的な取り組みを進め、観光消費額の増加による地域経済の活性化を図ります。」と記載しております。具体的には、マーケティングに基づく観光資源の戦略的な情報発信、観光商品の造成及びプロモーションを行ってまいります。また、酒田市中長期観光戦略に掲げるオリジナルストーリーは「KOEKI（交易と公益）のまち・酒田」となっており、ご意見も参考にしながら、ストーリー性を踏まえた観光施策を展開してまいります。

〔ご意見（原文）〕

第1章「未来を担う人材が豊富な酒田」～ひとづくり・協働～ について

提案企画名：「隣のエキスパート」

内容：市内で働く人の中から中高生、大学生に仕事内容、魅力を伝える講演会、学習会を月1回開催する。講師は公募で自薦他薦（他薦は未成年からも可能）により募集し、参加可能か市が打診しスケジュールしていく。参加者は無料、講師には謝礼を出し、会場、謝礼などの費用は市が負担する。講演会の内容は収録し、市のホームページからアクセス可能とし、情報共有していく。

提案意図：以前都内の病院に勤務していた時に院内で実際にあった企画だが、とても好評だった。院内で世界的、国内で最先端のことをしている人材は多数いるが、それぞれの業務に追われ、隣の同僚、上司がどんな仕事をし、実績を上げているか把握できていない場合も多いため、それを周知し、その後の仕事や研究のコラボレーションなどを促進する狙いがあった。毎回会場満席となるほど参加者があり、講師も他薦される方が多かった。酒田市でも魅力的な仕事をしており、優秀な業績を収めている方は少なくないと思われるが、それを若い人にアピールし宣伝する機会が乏しい。また若いひとで市内に残って働きたいと考えている人もいるが、具体的にどんな仕事があるのか、魅力的か、将来性があるのかを知る機会はなかなかない。あったとしても学校の職場体験など、限られている。身近にいる社会人から魅力的な仕事の話聞くことで地元で働く将来を具体的に考えるきっかけにする狙いがある。また講師として参加する方は自社、業界のアピール機会と捉え、後継者育成分野として取り組むメリットがある。市にとっても人材育成、地元に残る人材確保の機会になり、またそのための動画財産も企画のたびに増えていくことが見込める。市民が市政を理解するために、わかりやすく伝えることが必要だと思う。

〔本市の考え方〕

市内で働く方が中高生や大学生等に仕事の内容や魅力を対面で伝える取り組みについては、次表に示すとおり、酒田市、山形県庄内総合支庁、酒田商工会議所青年部などがそれぞれ実施しております。

実施機関	対象	内容
酒田市	市内の高校生、産業技術短期大学校庄内校の学生、保護者	市内企業見学ツアー（若手社員による説明及び質疑）
山形県庄内総合支庁	庄内の中学生・高校生	地元で働くイメージをもってもらうための中高生と企業の交流会、大学進学を目指す高校生向けの地元企業の魅力を伝えるセミナー
酒田商工会議所青年部	中学生・高校生	当該会員が講師となる出前授業（将来の夢や職業を思い描くキャリア教育）
ジョブナビ In 酒田実行委員会	市内の高校生	高校生を対象とした合同企業説明会、高校生と地元青年経済人とのトークセッション
酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）	誰でも	「Shonai Stars」地域で輝く凄い経営者たちを紹介するセミナー

ご提案のありました、所属（中学校、高等学校、大学等）を問わない、対象者をオープンにした市の主催による講演会・学習会については、類似の取り組みとの重複状況や対象者のニーズを踏まえ検討してまいります。

13	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策1「市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち」について</u></p> <p>市民が市政を理解するために、わかりやすく伝えることが必要だと思う。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の後期計画のような文章が長く読む時間を要するものは、複数回に分けて伝える。 ・「もしえのん・あののん」が会話しながら説明する。 <p>〔本市の考え方〕</p> <p>わかりやすい情報発信は重要と考えております。各世代に必要な情報を届けられるような様々な手法で情報発信に取り組んでまいります。</p>
14	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策2「大学・高校とともにつくる「ひと」と「まち」」について</u></p> <p>子供のころから、酒田市の良さを伝える必要がある（50代以上の住み続けたいという人が考える酒田市の良さを実際に聞くなどしながら）。それが酒田市からの移住を減らすことにつながると思う。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第1章>政策3>施策5【スクール・コミュニティの拡充】の今後の方向性として、「子どもを縁とし、学校と地域が一体となって地域づくり・人づくりを進めます。」と記載しており、地域人材・地域資源を活用した学習機会と学習支援の創出及び地域行事への児童生徒等の参加を促進してまいります。また、第1章>政策4>施策3【郷土愛にあふれた人材の育成】の今後の方向性として、「子どもたちがふるさと酒田に誇りと愛着を持つ教育の充実に努めます。」と記載しており、地域の資源や人材を活用した学習を推進してまいります。</p>
15	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策2>施策3【高等学校との連携】について</u></p> <p>酒田市の中学校卒業生の2割が鶴岡市の学校に進学するとの記載がありますが、これは鶴岡市には工業専門学校があることも影響していると思われるが、酒田市高等学校の定員割れ事態もあり、事態は深刻だと思われる。高等学校の連携も重要ですが、中学生の進路指導においても連携することが必要だと思います。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>中学校における進路指導については、各高等学校の特色を踏まえ、生徒の希望・選択に寄り添った指導・援助を行うことが重要と考えます。</p> <p>酒田市内に所在する高等学校が本市中学生の進学先として選ばれるよう、各高等学校の特色や魅力について周知を図るとともに、小・中学生と高校生が交流する機会を創出することで高校の魅力がさらに伝わるよう努めてまいります。</p>

16	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策1【「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進】</u>について 支援センターで行われているような乳児・幼児と、学生とのふれあいを増やす。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>現在、教育委員会が推進している小中一貫教育では、小・中学生が校種を越えて関わり合うことを含め、異学年による交流の実践に努めています。これと同様に、乳児や幼児とのふれあいの機会についても検討してまいります。</p> <p>高校生との乳幼児ふれあい体験については、これまで酒田光陵高等学校から事業に参加いただきておりましたが、令和4年度の酒田子育て支援センターの移転を機に、市内の全高等学校に意向調査を行い、酒田東高等学校の授業にも取り入れていただきました。今後も各高等学校と調整を行い、実施校を広げてまいりたいと考えております。</p>
17	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策2【「社会の変化に対応できる確かな学力の育成】</u>について 酒田市で実際に仕事をしている社会人の話を聞く。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>各学校では、職場体験や見学を通して、小・中学生が酒田市で仕事をしている方から直接お話を伺う機会を設けております。また、児童生徒一人ひとりの将来を見据えたキャリア教育の実践においても、様々な分野の方を講師にお招きしております。今後も地域と連携しながら子どもたちの学びの機会を確保してまいりたいと考えております。</p>
18	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策3【「豊かな心と健やかな体の育成】</u>について 冬の時期や雨が降り公園で遊べない場合に、室内で体を動かす場所を増やす。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第4章>政策2>施策1【結婚・妊娠・出産・子育ての支援】の主な施策として、「親子の遊び場づくりなど育児環境の整備」を掲げており、子どもを産み育てやすい環境を整えてまいります。</p> <p>小・中学校においても季節や天候によらず運動する機会を確保できるよう努めております。これからも健康及び運動能力の向上に向けて取り組んでまいります。</p>
19	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策4【共生社会の実現に向けた教育の推進】</u>について インクルーシブ教育の確保と記載されていますが、このことを推進する場合に、幼児期から、障がい者・医療的ケアが必要な子どもを地域で受け入れることが必要ではないでしょうか。その場合、地域の人、教師、保護者、児童・生徒の理解を得るための環境が必要ではないでしょうか。そのための体制づくりも、人員も必要なのではないでしょうか。</p>

	<p>日本政府（文部科学省）は『令和の日本型学校教育 ～すべての子供たち可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実施～』が答申されていますが、この方針は9月9日に国連・障害者権利委員会による日本への勧告いわゆる通常学級で子どもを問題視、分離された特別支援教育の中止に向け、障がいのある子どもも無い子どもとともに学ぶ「インクルーシブ教育」に関する国の行動計画を作ることを求めています。文部科学大臣は特別支援学級の中止は考えていないと述べています。酒田市のスタンスはどのような立場ですか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>酒田市では、学校と保護者が連携しながら個別の教育支援計画や指導計画を作成し、合理的な配慮のもと、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に取り組んでまいりました。今後、国や県の動向を注視しながら、県が推進している交流及び共同学習の考え方をもとに、引き続き一人ひとりのよさを伸ばし可能性を広げる学びの保障に向け、インクルーシブ教育の充実努めてまいります。</p>
20	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策4【共生社会の実現に向けた教育の推進】</u>について</p> <p>障害の有無にかかわらずの「有無」の表現は適切ではないと思います。変更をお願いします。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>ご指摘いただいた表現については、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」第1条（目的）中の規定「この法律は、障害者基本法の基本的な理念にのっとり、…全ての国民が、<u>障がいの有無</u>によって分け隔てられることなく、…社会の実現に資することを目的とする。」より引用したものとなっております。</p>
21	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策5【スクール・コミュニティの拡充】</u>について</p> <p>最近の「ことば」なのに推進ではなく、拡充としたのはなぜなのか。進んでいるものをさらに拡充するものではないか。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>酒田市においては、小学校とコミュニティ振興会などが協力し合い地域活動を行っておりますが、この点においては、すでに「スクール・コミュニティ」の考え方が実践されているものと考えております。</p> <p>コミュニティ振興会などの活動実績は十分なものですが、今後さらなる人口減少・少子化・高齢化が進む中、地域コミュニティ活動は次第に困難になっていくことも予想されます。</p> <p>地域コミュニティ活動の持続、発展のためには、より広い中学校区単位でのコミュニティ同士の繋がりを支援していくことなどにより、スクール・コミュニティを拡充していくことが必要と考えるものです。</p>

22	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第1章>政策4>施策1【人生100年時代を見据えた学びの推進】について</p> <p>企業の従業員へ、福利厚生の一つとしてお試しで学びをしてもらったり、サークルとして所属してもらったりする。スポーツ活動も同様。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>今回ご提案いただいたような、企業の従業員様向けに限定した講座等は実施していませんが、総合文化センターでは、“暮らしに役立つおかね講座～人生100年時代のライフプランとおかね～”等の現代的課題への対応に役立つ講座の実施や、広報・ホームページなどを通して種々のサークル会員等を随時募集しております。また、様々な団体が総合文化センター等で活動を行っており、各団体の案内チラシ等も作成しております。</p> <p>スポーツ活動については、各地区のスポーツ推進員がニュースポーツなどの出前講座を地域で行っておりますので、スポーツ振興課へお問い合わせいただき、交流の場にしていただければと考えております。</p>
23	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第1章>政策4>施策2【文化芸術活動の推進】について</p> <p>子供たちが学んだことを市民にも伝えてほしい。</p> <p>観光客とお話をする機会があり、普段何気なく散歩している日和山公園や酒田市内の良さを教えてもらった。観光客からの感想を市民に伝えることも、市民の郷土愛向上につながると思う。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>教育委員会では「きょういく酒田」の全戸配布により、子どもたちの学びの様子をお伝えしてまいりましたが、これからは、市のホームページでお知らせすることを検討しております。また、各学校では「学校だより」などにより、地域の方に子どもたちの活動の様子をお伝えしているところです。今後も地域の皆様のご理解とご協力が得られるよう、子どもたちの様子を幅広くお伝えしていきたいと考えております。</p> <p>この他、文化芸術の推進のために取り組んだ事業については、事業レポートを希望ホールのホームページで公開することにより、市内外の方からいただいた声を市民の皆様幅広くお伝えしたいと考えております。</p>
24	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第1章>政策4>施策3【郷土愛にあふれた人材の育成】について</p> <p>写真の撮り方講座、学生写真部の写真展示など、様々な年代が興味をそそられるようなイベントをしてほしい。無料で展示を見られる日があっても良さそう。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>写真の撮り方講座については、土門拳記念館において、親子を対象にピンホールカメラ教室を実施しております。また、無料展示については、ボランティアでの清掃活動に参加した市民などを対象に、期間を限定して無料で入館できる取り組みを行っております。</p> <p>総合文化センターでは、貸し館として利用している団体等の発表の場として「生涯学習ま</p>

	<p>つり(10月開催)」を実施しております。様々な団体がホールで発表したり、教室やモールで展示や体験など行ったりしています。さらにモール部分は無料で貸し出し、各団体の作品等の展示を行っております。写真関係のサークル団体についても、定期的にモールを活用して展示を行っておりますので、ぜひご覧ください。</p>
25	<p>〔ご意見(原文)〕</p> <p><u>第2章>政策1「地域経済を牽引する商工業が元気なまち」について</u></p> <p>進捗状況で企業立地件数は目標達成しているのに、製造品出荷額が増加していないのは、既存企業が廃業や営業が不振なののでしょうか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>製造品出荷額等は製造業を対象とした成果指標(単年度実績)です。企業立地件数は製造業以外の業種も対象とした成果指標(2018年度から2021年度までの4年間の累計実績)となっており、立地(土地売買契約等)から操業開始、出荷額等への反映まで2~3年程度のタイムラグが生じます。両指標の関係を単純に比較することはできませんが、製造品出荷額等が増加していないのは、既存企業の出荷額等の減少によるところが大きいと考えております。</p>
26	<p>〔ご意見(原文)〕</p> <p><u>第2章>政策2「経済と環境の両立により産業競争力が高いまち」について</u></p> <p>進捗状況の記載でコンテナ取扱個数の目標値と実績値が逆ではないでしょうか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>ご指摘のとおり、目標値を「35,000TEU」に、実績値を「18,613TEU」に、それぞれ修正します。</p>
27	<p>〔ご意見(原文)〕</p> <p><u>第2章>政策4>施策3【持続可能な循環型農業の促進】について</u></p> <p>サステイナブルな取り組みで豚肉を育てている平田牧場を中心に、全国に酒田市の食の魅力を「環境に配慮したおいしい食べ物」という観点で売り込みしていくことが大事だと思う。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第2章>政策4>施策4【販路・消費の拡大】の今後の方向性として、「国内外の市場で販路拡大を図るため、他産地との差別化・ブランド化を推進します。」と記載しており、循環型農業の促進により産出される農産物をはじめ、食肉、牛乳等の畜産物に関連する加工品が含まれます。</p>
28	<p>〔ご意見(原文)〕</p> <p><u>第3章>政策2>施策2【交流およびシティプロモーションの推進】について</u></p> <p>① 内陸地方から修学旅行生が山居倉庫で見られた。修学旅行で体験型観光を経験して酒田市の良さを理解してもらい、この生徒が将来のリピーターとなれば、交流人口の拡大に</p>

	<p>結び付くのではないでしょうか。</p> <p>② ヨットハーバーのある都市でヨットハーバーを中心としてイベントを開催している事例があるようです。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第3章>政策2>施策1【観光地域づくりの推進】の主な施策として、「豊かな自然を生かした教育旅行の誘致および受入」を掲げており、酒田に親近感をもち、関係人口となり得る酒田ファンの増加に努めてまいります。</p> <p>全国的には、物販・飲食機能や多目的広場をも備えたヨットハーバーがありますが、本市のプレジャーボートスポットを中心としたイベントを考えた場合、周辺の緑地公園までは距離があり、また、駐車場や市街地との回遊性等の面で課題があると考えております。なお、本市におきましても、「みなと」を核とした地域住民の交流や観光振興の活動として、上記と同様の機能をもった「みなとオアシス酒田（さかた海鮮市場、酒田市みなと市場等）」を中心としたイベント等も行ってまいります。</p>
29	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第4章>政策3>施策1【健康寿命の延伸】について</p> <p>光ヶ丘のクロスカントリーコースをランニング・ウォーキングする人が多数みられ健康に関心はあると思います。冬期間はこの取組は困難であるが、鶴岡市では屋内運動場を無料で開放しているようですが、酒田市もこのような施設はあるのでしょうか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>国体記念体育館大アリーナの周囲を一周することができ、個人使用料をいただきますが、大会等が開催されていないときはランニングやウォーキングのスペースとして使用することができます。</p> <p>同様に、有料にはなりますが、中町にぎわい健康プラザに1周80メートルのウォーキングコース、ランニングマシン等を、ひらたタウンセンター内にもランニングマシン等を設置しております。</p>
30	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第5章>政策2>施策1【地球温暖化対策の推進】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の企業および家庭への設置を増やしたい。 <p>山形県は全国的にみても太陽光発電に向いていないようだが、実際の発電量、電気代などを知ること信頼できる設置業者を自分たちで見極めながら設置数を増やせると思うので、情報発信をお願いしたい。また太陽光発電設置に補助金を出してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の省エネや節電の取り組み、成果を発表してほしい。 ・「酒田市環境基本計画に定める目標値」で2024年までの目標値が示されているが、他の項目同様2027年の目標値も知りたい。地球温暖化を考え行動していくことが、将来の子供たちが生きていく美しい環境を守るという意味で、育児の一つだと考える。 ・リサイクル率の目標値はもっと高くしてもらい、環境保全に力を入れているという点も酒田市の魅力としたい。

	<p>〔本市の考え方〕</p> <p>太陽光発電装置の設置を対象とした本市の補助金はありませんが、今後、当該補助金の財源となるような国・県の支援制度の動向を注視しながら、太陽光発電の導入に関する情報提供を行ってまいります。</p> <p>酒田市（市役所）の省エネや節電の取り組みについては、市ホームページ掲載の「酒田市環境報告書」でお知らせしております。</p> <p>酒田市環境基本計画（2015～2024年度）については、2024年度に改訂を予定しており、計画策定（改訂）の過程で2027年度の目標値を設定してまいります。</p> <p>同様に、酒田市ごみ処理基本計画（2015～2024年度）についても、2024年度に改訂を予定しており、計画策定（改訂）の過程でリサイクル率の目標値を検討してまいります。</p>
31	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第5章>政策5「自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち（八幡、松山、平田地域と飛島）」について</u></p> <p>もう少し旧3町の状況と課題をていねいに取り上げることはできないでしょうか。8月の公共交通の改正、八幡、松山地区の公共交通の体制は脆弱になっています。鶴岡市民間バス会社と比較しても貧弱に見えます。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>八幡、松山、平田地域（以下「総合支所管内」という。）の振興については、市街地地域等と比べて条件が不利であり特別な配慮が必要であることから、総合計画においても一つの政策として取り上げているところです。また、総合計画には現状における課題と今後の方向性と主な施策を大きく捉えて記載しておりますが、詳細な個別事業等については、総合計画を受けて策定した「過疎地域持続的発展計画（令和3年9月策定）」の中で、総合支所管内の現状や問題点、その対策及び計画（個別事業）を分野別に明記しております。</p> <p>公共交通の改編は、総合支所管内におけるバスの利用者数の減少を背景に、地域の方々の意見交換やアンケート調査などを行い、自宅まで送迎するデマンドタクシーの運行を望む声に対応して実施したものです。8月以降、多数の乗車実績があり、さらに増加傾向にあります。</p> <p>一方、総合支所管内における地域振興の視点では、旧酒田市地区にお住まいの方が総合支所管内へ移動する場合や、各総合支所管内間で移動する場合には、現在の路線バスやデマンドタクシーは対応していないことから、利用者のニーズや意見を踏まえ、今後も利便性の向上について検討してまいります。</p>